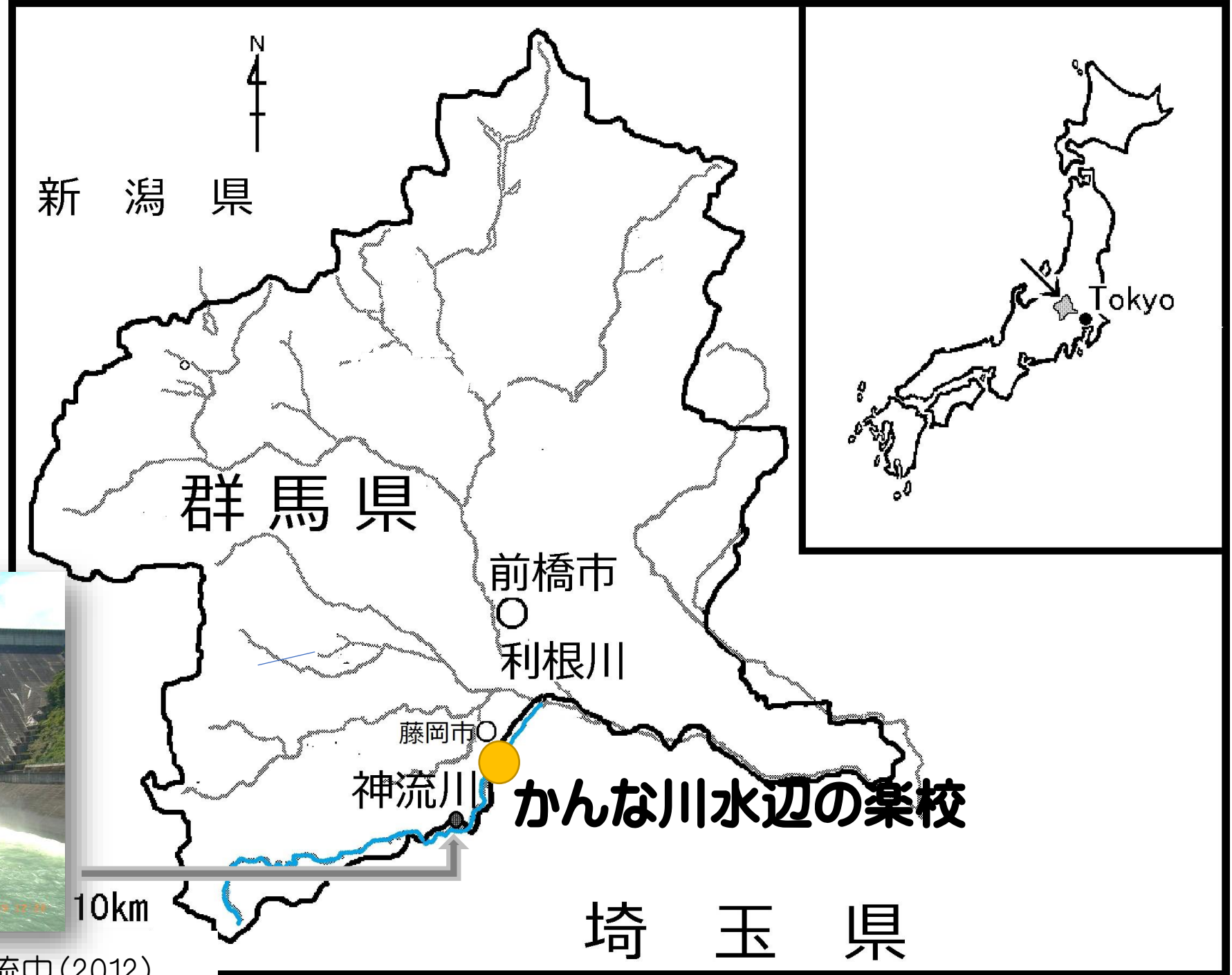


川と子どもたちの心を育み次の世代へ

# かなな川水辺の楽校

かなな川水辺の楽校運営協議会 掛川 優子

# 位置



下久保ダムフラッシュ放流中(2012)

埼玉県

群馬県

かな川水辺の楽校  
上流部

藤岡RCクラブ新井委員撮影  
2020/11/12



# かな川水辺の楽校は、こんなところ!!



「かな川水辺の楽校」は、地域の方々に、安全に楽しく神流川の自然にふれる事ができる場をめざしてつくられました。自然体験・環境学習の場として、神流川のその時々の変化や多様な自然環境を活かせるように考えられています。

- かな川水辺の楽校で見られる生きもの
- 魚類
  - 水生昆虫類
  - 陸上昆虫類
  - 鳥類



神流川のその時々  
の流れや変化や  
多様な自然環境  
を生かせるよう考  
えられています

2010/6/12  
初見のカワラバツタ

### かな川水辺の楽校を楽しむポイント!

**【ワンド】**

箱のなかがあるカワラバツタの中が見られるよ!  
こんな生きものが見られるかも??  
にらんでみてね。

**【せせらぎ水路】**

水に入ったり、水で遊ぶのが好きかな?  
川の水って何がいかにきれいかな?  
水に入るときは、  
ワンドの水も入らないよ。

**【林の散策路】**

夏休みや学校休みのとき、  
風や虫を体験してみよう!  
神流川の生きもの、  
何となく見つけられるかも??

### 水辺の楽校で、こんな生きものにあえたらラッキー!

水辺の楽校にはさまざまな生きもの環境があって、どの場所ごとにもいろいろな生きものがくわしているよ。水辺の楽校の地図に書いてある生きものの中から、あえたらラッキーな生きものをしょうかいするよ。

**アカザ**

特長: 全身が赤褐色、Dの節にヒゲ状の毛が生えている。  
大きさ: 15mm×9mm  
観察場所: せせらぎ水路の石の下など  
観察時期: 1月中旬

**カワセミ**

特長: 青い頭とオレンジ色の腹  
大きさ: 17cm×4cm  
観察場所: 川川、池沼などの水辺  
観察時期: 1月中旬

**イカヒキドリ**

特長: 目の周りに黄色い輪  
大きさ: 20cm×4cm  
観察場所: 小石の敷き詰め  
観察時期: 1月中旬



# せせらぎ水路

春の遠足観察会2014/4



出来立てせせらぎ水路2010・4

親子観察会  
2011/7



# ワンド

洪水で波立っ  
て流れている  
本線



静かな水面のワンド  
小魚が逃げ込んでいた



造成面はオニヤンマの池



出来立てのワンド2010・4

# 経緯

2002年、ゆとりの時間の中で地元の美九里小学校にできた  
自然環境クラブが川づくり教室や川の生き物調べなど  
元気な活動をしていた



川の生き物調べ



多自然型川づくりの猿田川



ヤリタナゴの住む笹川



2004年、国交省高崎工事事務所から

「水辺の楽校プロジェクト」について提案があり、  
美九里東小自然観察クラブのサポーターを中心とした

市民団体と藤岡市と国交省で会議と見学会を重ね、

登録手続きを経て、2010年7月5日

「かな川水辺の楽校」として開校を迎えました。



# 開校式 2010.7.05



手話の振り付けで歌を披露する  
サムエル幼稚園児。伴奏は理事長先生の指笛

式には美九里東小の全校児童が参加  
式後、水生昆虫、魚類、野鳥、陸生昆虫の観  
察会を開催。講師には協議会委員以外に  
県内の生物の先生方に協力いただいた



# 施設内に生息している絶滅危惧種など





アオサナエ(松村委員撮影)



アオハダトンボ



カワラバッタ



キイロツノトンボ



ギンイチモンジセセリ  
(松村委員撮影)



トウキョウ  
ダルマガエル



ニホンヤモリ

# 観 察 会 (春の遠足)

全員を班に分け、生物の採集・観察、水質調査、川とダムのお話などを通じて、自分で調べて考える体験をしてもらいたいと思ってきました。



開始前ミーティング。前に並ぶのが講師陣。



昆虫調べ



魚も昆虫も採ったことのない子どもがほとんど。初めての体験にこわごわだった子ども、網に魚や虫が入ると笑顔がはじける。



水生昆虫と  
パックテストで水質調査



川とダムの話  
は勉強になっ  
た

パークゴルフ  
が一番面白  
かった



いろいろ体験  
できた

魚とった  
の初めて

緑の多い街ですが、  
虫とか魚を取った  
ことがない子が多  
いです

水がすご  
く冷た  
かった

帰ったら  
またすぐ  
に来たい

採れなかつた  
けど、楽し  
かった

川に入っ  
たの初め  
て!



## 観察会（親子）

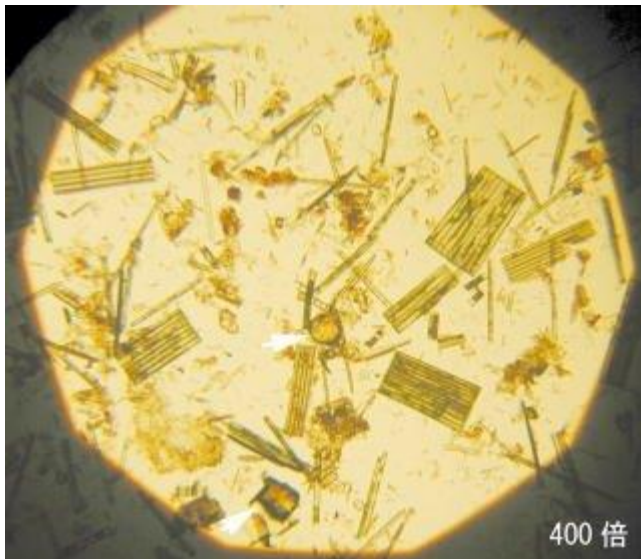
観察会では、水の中に住む  
小さな生き物たちを、大切に  
思う心や、育くもうと思  
う心が生まれてきてほしい  
と思ってきました。



石についていたドロドロを  
採集してプレパラートづくり



小さな子ども興味深く携帯用  
顕微鏡をのぞく



400倍

光学顕微鏡で



作ったプレパラートをのぞくと、  
多様なケイソウや生物の世界  
が広がっている

## 川の安全教室

## マムシの学校

へビはおとなしく無害な生き物。咬むのは人が怖いから、身を守るため。そつとしいてください。

アオダイショウやシマヘビは毒はないけどおこると、頭を三角形にします！！

毒のない蛇でも、怒ると頭が三角になるよ！

ヤマカガシはたたくと首から毒を飛ばしてくるから

かな川水辺の楽校では、計画時からマムシの被害が心配されていました。



第1回遠足で子供たちが見つけたマムシ

怖がらない子供たち。

へビにあった時、万が一咬まれた時、正しい対応を取れるように開きました。

講師は（一財）蛇族学術研究所。台上のケースには生きているニホンマムシ、ヤマカガシ、アオダイショウがはいっている（2012.04.23）

## 川の安全教室

今日の体験を生かして、  
これからは周りの子供  
たちの安全にも気を配  
ろうと思います。  
(スタッフの高校生)



## ライフジャケット体験

川では水難事故も命に係わることが多い。  
いざという前に、装着方法や流れ方を体  
験しておこう

親の私が川遊び経験ゼロ  
の為、川は怖い近づか  
ないと決めていました。今  
回体験したことで気をつけ  
れば安全に楽しく遊べる  
事がわかりました  
(保護者)



まず着方の実演。(2016.07.27)



荒木講師が流れ方の見本。真剣に見ている子供たち



次は体験。楽しそうに流れていました



## 川の安全教室

# 川とダムのお話



「サイレンが鳴ったら川から離れて、5回鳴るサイレン音は、神流川から離れてほしいという合図です。」(2017.7.29 下久保ダム管理所)



「堤防では防ぎきれない大水害は必ず発生するという認識を持ちましょう。」  
(2019.07.13、高崎河川国道事務所)〔

## 台風19号来襲

2019年10月の台風19号では、かな川水辺の楽校も大きな被害を受けた。

増水した水はワンドのり面を突き破り、散策路を走り、防草シートは大きくまくれ上がりました



水が乗り防草シートがはがれた散策路。



たくさんの魚が取り残されていた

2019・10・13



施設内、いたるところがこのような状態となっていた

# 上流の八高線鉄橋も



2019/11/4

# せせらぎ水路



2019/10/18



消えたワンド

2019-10-13

# 興味尽きない流水の世界

水が引き新しい流れが登場

2020/1/7

神流川のその時々  
の流れや変化や多様な  
自然環境を生かせる  
ように



# 新せせらぎ水路

2020/12/17



2021春  
通水なった  
せせらぎ水路





2021/5/29 せせらぎ水路下手

台風19号の攪乱後、  
初めて確認  
戻ってきたアオハダトンボ



# 熱中症、異常気象、コロナ禍で活動休止中でしたが

## 今年の春3月6日に越冬幼虫探し、ノジトラノオ（県絶滅危惧1類）保護・移植



見つけた?

チャイルドホープ上小鳥の皆さん  
越冬幼虫を探しています

ゴマダラチョウと  
アカボシゴマダラ  
(外来種)が同所で



季節を変えて  
できることを  
これからも

芽が出る  
ように



かな川水辺の楽校近くの  
圃場整備で住み場所のな  
くなったノジトラノオを移植  
しました

芽が出ました3月28日

# おわりに

- かな川水辺の楽校は子供たちと一緒に、水辺の生き物たちを見つめながら、川で安全に過ごすことも考えてきました。
- 台風19号(2019年)を経験し、ダムと堤防の想定を超える雨が降る時代の川の安全は、ダムと堤防に守ってもらえるものではなく、流域に住む住民として普段から防災について心構えと準備と情報の共有が必要なことを実感しました。
- 新たな川の安全を、川にかかわる団体として、地域の皆さんとともに考えていきたい

# 生物調査講師の皆さま (順不同)

ご協力いただいた大勢の方々と協議会委員の方々に感謝申し上げます

